

令和7年第3回礼文町議会臨時会

所 信 表 明

令和7年8月8日

礼文町長 澁谷 秀 勝

議員各位におかれましては、去る6月29日に執行されました議会議員選挙において、町民の皆様からの力強いご支援と大きなご期待を受けてご当選されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

本日ここに令和7年第3回礼文町議会臨時会が開催されるにあたり、町政運営に対する私の基本的な考え方と、今後4年間に重点的に取り組む施策について、所信の一端を申し述べさせていただきます。議員各位をはじめ町民の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

このたび町民の皆様のご信任を賜り、礼文町長としての重責を担うこととなりました。責任の重大さに身の引き締まる思いであるとともに、町の未来を町民の皆様とともに切り拓いていくことへの期待と決意に胸が高鳴っております。

まずは、今回の選挙を円滑に執行するためご尽力いただいた選挙管理委員会の皆様、また多忙な業務の中でご協力いただいた職員の皆様に、心より感謝申し上げます。併せて、これまで礼文町の発展に寄与されてきた歴代町長、職員、そして地域の皆様に対し、深く敬意を表します。

今日の礼文町の^{いしすえ}礎は、こうした先人たちのたゆまぬ努力と献身によって築かれてきたものであり、その志と成果をしっかりと継承し、次の世代へと発展的につないでまいります。

私たちの礼文町は、「日本最北の離島」という唯一無二の存在です。この誇り高さ「日本最北の離島」から、私たちは未来を見据えて着実に歩みを進めてまいります。美しい自然、そして人と人との温かなつながりという、かけがえのない財産を、これからを担う世代に確実に引き渡してまいります。

町づくりの中核を担う礼文町役場において、皆様とともに新たな一歩を踏み出せることを、大きな誇りに感じております。私たちのふるさと・礼文町は、日本最北の離島という特異な地理的条件と豊かな自然環境に恵まれた地域である一方で、人口減少や高齢化、産業の衰退、交通インフラの整備、さらには近年の物価高騰など、町民生活に大きな影響を及ぼすさまざまな課題に直面しております。

こうした多くの課題を克服し、持続可能な発展を遂げるため、「第6次礼文町まちづくり総合計画（後期）」を基本に、町政運営にあたっての私の考えをさらに具体化・実行してまいります。

～漁業と観光で、町の誇りと豊かさを育てます～

まずは「基幹産業の振興」について申し上げます。

礼文町の漁業は、町の歴史と文化を支えてきた、まさに誇るべき基幹産業です。ウニやコンブをはじめとする水産資源は、私たちの暮らしと地域経済を支える大切な財産であり、先人たちの知恵と努力によって育まれてきたものです。

今後は、海水温の上昇といった課題に対応するため、関係機関との連携を強化し、持続可能な資源管理の徹底を図るとともに、ブルーカーボンの活用や海洋環境の保全など新たな視点も取り入れ、環境と経済の両立を実現していく必要があります。

また、漁業の担い手不足という喫緊の課題に対しては、町内外からの新規就業者の確保・育成に積極的に取り組むとともに、操業や加工を支える水産労働者の安定的な確保に向けた環境整備にも取り組んでまいります。

水産基盤の整備を推進し、魅力ある労働環境の構築と働きがいのある現場づくりを通じて、地域全体の雇用力の強化を図ってまいります。

あわせて、漁業生産額の維持・向上を目指し、資源管理の高度化や生産効率の改善を進めるとともに、加工・流通体制の強化、地域ブランドの確立、さらには観光や飲食との連携による付加価値の向上にも力を入れてまいります。

漁業者の皆さんと連携を深め、次の世代にも誇れる礼文の漁業と地域の豊かさを、皆さんとともに再構築してまいります。

観光業において、礼文町の最大の魅力は、雄大な自然環境、春から秋にかけて咲き誇る高山植物と豊かな海の幸、そして離島ならではの風土と文化にあります。これらの資源を最大限に活かし、町内外からの交流人口の拡大を目指してまいります。

とくに、観光の閑散期であるショルダーシーズンにおいては、滞在型観光の促進に注力し、自然を楽しむ体験型プログラムの充実を図るとともに、国際観光の積極的な推進にも取り組んでまいります。多言語対応の案内表示の整備や、インバウンド対応の受け入れ体制の強化を通じて、海外からの誘客にも積極的に取り組んでまいります。

また、観光資源の根幹である自然環境の保全と、歩道や休憩施設等の観光インフラの計画的な維持管理を進め、持続可能な観光地としての基盤を強化してまいります。

さらに、情報発信力の強化や、観光ガイドの充実を通じて、町民の皆様が観光を誇りに思える地域づくりを推進してまいります。

～子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる町へ～

次に、「誰もが安心してくらせる地域づくり」について申し上げます。

子どもから高齢者まで、すべての町民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、町政の力を注いでまいります。

保育環境の充実に加え、子どもたちが心身ともに健やかに育つための居場所づくりにも取り組みます。その一環として、子育て世代の多様なニーズに応えるため延長保育を継続的に実施し、保護者が安心して働ける環境づくりを支援してまいります。

さらに、教育環境の整備も重要な課題と捉え、地域に根ざした学びを支える仕組みの充実や、魅力ある礼文高校づくりを推進し、子どもたちがふるさとに誇りと希望を持てるような教育の場を目指してまいります。

また、高齢化が進む中で、一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、「見守り体制の強化」や地域とのつながりを支える仕組みづくりも進めてまいります。

高齢者福祉、子育て支援をさらに充実させ、「誰一人取り残さない」温かな町を、各関係機関の皆さんとともに築いてまいります。

さらに、地域づくりにおいて欠かせないのが、礼文空港の再開と交通アクセスの改善であります。礼文空港は、町民の移動の利便性

向上はもとより、観光振興や、急病時の緊急搬送といった離島医療の観点からも極めて重要な社会基盤です。地域医療の充実を図るうえでも、空港機能の再開は不可欠であります。

私は、空港の再開は町民全体の願いであり、希望であると受け止めております。その実現に向けて、着実に歩みを進めてまいります。しかしながら、現在の休止期間は令和8年3月までとされており、再開に向けた準備を着実に進めるためには、休止期間の延長が強く求められるところです。

また、空港の再開と併せて、島内外の交通利便性の向上も大きな課題です。利尻島とのフェリー運航の在り方や、接続の利便性改善を含め、地域全体の交通網整備に向けて積極的に取り組んでまいります。

とりわけ、離島医療体制の維持・強化という観点から見ても、空港機能の長期的な喪失は大きなリスクであり、再開への道筋を確保するうえでも、休止期間の延長を含めた現実的な対応が求められております。

今後も、国や北海道との連携を強化し、町民の皆様の安心と安全を守るために、空港の早期再開と地域医療の充実に全力で取り組んでまいります。町民の皆様が安心して快適に移動できる環境を整え

ることは、離島での暮らしを支える基盤であり、私たち町政の重要な使命であると考えております。

～穏やかで活気ある礼文町役場をつくります～

最後に、「活気ある役場づくり」について申し上げます。

現在、役場では職員数の不足により、業務全体に支障が生じ始めております。町民サービスの質と持続性を守るためにも、職員の確保は喫緊かつ極めて重要な課題であると、強く認識しております。

町民の皆様信頼される行政を実現するには、まず職員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、安心して働ける職場環境の整備が不可欠です。私は、穏やかでありながら活気あふれる職場づくりを、何よりも大切にしていまいります。

今後は、人材育成の強化とともに、職員の確保・定着に一層力を注ぎ、それぞれの能力が最大限に発揮される組織体制の構築を進めてまいります。その際、「付和雷同」すなわち、表面的な調和にとどまり、安易に周囲に同調するような風土に陥ることなく、職員一人ひとりが主体的に意見を持ち、切磋琢磨しながら前向きな議論を重ねられる職場風土の醸成^{じょうせい}を目指してまいります。

私は、町民の皆様にとって開かれた存在であると同時に、職員にとって働きがいのある役場づくりを進め、礼文町の未来を力強く支える行政機関としての基盤を築いてまいります。

これまで述べてまいりました施策の柱は、いずれも礼文町の未来を切り拓く道標であり、その実現には町民お一人おひとりのご理解とご協力、そして何よりも、日々現場で尽力している職員の皆さんの存在が欠かせません。

私は、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、誠実な町政運営に努めてまいります。

国や北海道の支援、そして町民の皆様のを結集し、礼文町ならではの強みを最大限に活かした政策を着実に推進することで、「住み続けたい、帰ってきたい、訪れたい」——まさに「ほっとする町・あたたかな礼文町」の実現を目指してまいります。

これらの取り組みは、町民の暮らしの質を高め、礼文町の持続可能な未来を築くための、きわめて重要な第一歩です。

いかなる課題も、一人の力で乗り越えられるものではありません。しかし、「第3次礼文町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、町民の皆様と議会の皆様とともに力強く推し進めていくことで、私たちは必ずや礼文町の新たな未来を切り拓けるものと、私は固く信じております。

いまこそ、「島の絆・・・地域の結びつきと支え合いの力」を町全体の原動力とし、礼文町のさらなる発展へとつなげていくときです。

私自身がその先頭に立ち、町民の皆様、そして町政を支えるすべての関係者と心を一つにしなが、力強く歩みを進めてまいる所存です。

町政運営にあたっては、これからも議員各位のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

これらの取り組みは、決して一朝一夕^{いちちよういっせき}に成果が現れるものではありませんが、「千里の道も一歩から」という言葉のとおり、地道な歩みを一步一步積み重ねていくことで、やがて確かな成果へと結実^{けっじつ}すると、私は信じております。

以上をもちまして、私の所信表明とさせていただきます。